

インテリア建材

大開口建具

メンテナンスブック



ご使用にあたって

このメンテナンスブックでは、商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	2
■特に注意していただきたいこと	2~4
■お手入れ方法	5
■大開口建具製品の点検について	6~10
■大開口建具の調整について	11~19
■アフターメンテナンスについて	20
■商品保証について	21
■その他建具製品の点検について	22~26
■その他建具の調整について	27~34

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこのメンテナンスブックにしたがってください。

もしこのメンテナンスブックにしたがわず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.このメンテナンスブックの他にも、あらゆる危険が想定されます。

したがって、「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う際は、このメンテナンスブックの記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

2.このメンテナンスブックは著作権を有し、その権利は留保されています。

お願い

- この「メンテナンスブック」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、施工業者さま又は、当社お客さま相談センターまでご相談ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

- この「メンテナンスブック」では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

用 語	意 味
⚠ 警 告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる場合があります。

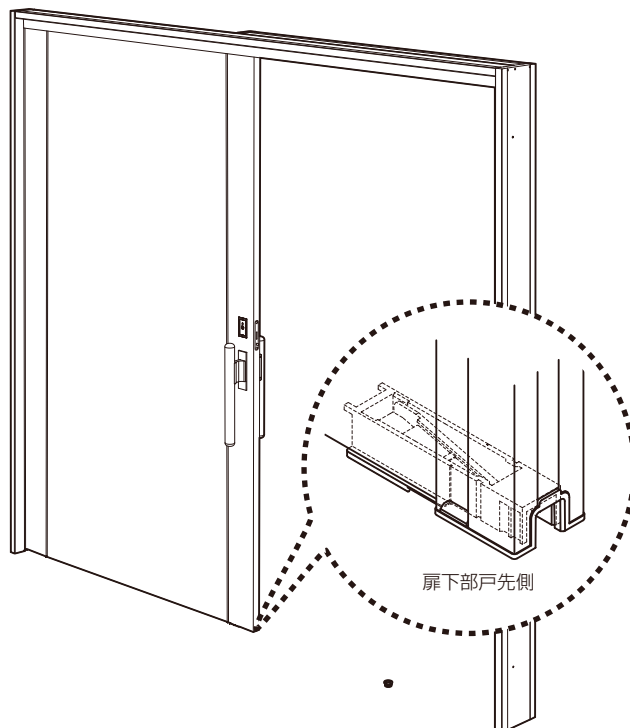
特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

大開口建具（上吊片引戸、アウトセット引戸、上吊連動引戸）

⚠ 警 告

- 扉下部戸先側から30cm以上離れて操作および使用してください。
心臓ペースメーカーを装着されている方は、接近して操作されると誤作動をまねくおそれがあります。
その他医用電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカー又は販売者にご確認ください。

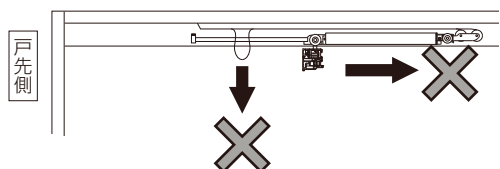
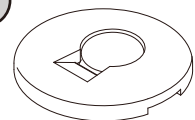
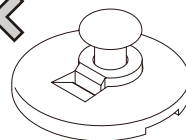
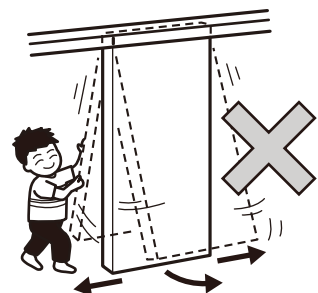
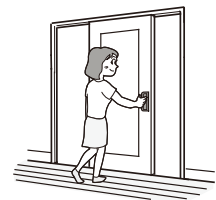


特に注意していただきたいこと

大開口建具（上吊片引戸、アウトセット引戸、上吊連動引戸）

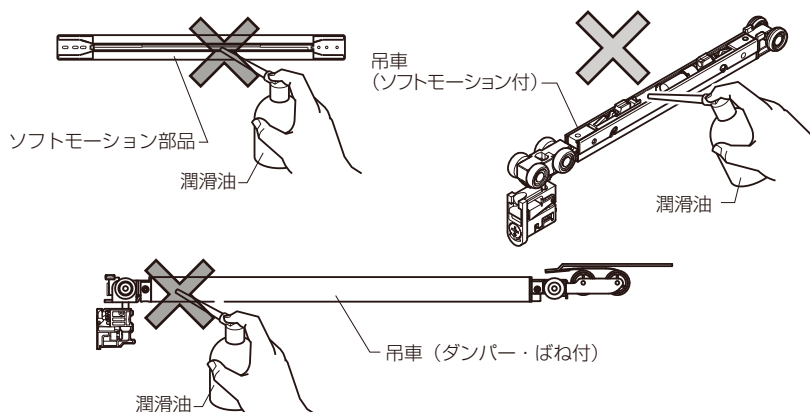
！ 注 意

- 扉に寄りかかったり、強く押したりしないでください。ガラスやアクリル系パネルが割れてケガをするおそれがあります。
- 採光部をたたいたり鋭利なものなどで力をあたえないでください。割れてケガをするおそれがあります。
- 扉の下にもものを挟まないようにしてください。扉が持ち上がり、扉脱落の原因になるおそれがあります。
- 扉や把手にぶら下がらないようにしてください。転倒・落下事故や故障の原因になります。
- 扉の開閉にあたっては、必ず把手を持って操作してください。把手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間に指を挟み、おもわぬケガをするおそれがあります。
- 扉の開閉方向以外の力を加えないでください。ガイドピンが扉から外れるおそれがあります。外れた場合は、開閉方向に扉を静かに 1 往復させてください。
- ガイドピンが扉下部のレールから外れた状態で扉を開閉したり前後に動かさないでください。部品が破損して落下するおそれがあります。外れた場合は、開閉方向に扉を静かに 1 往復させてください。
- ガイドピンが戻らない場合は必ず手で押し戻してください。おもわぬケガをするおそれがあります。
- 扉を強い力での開閉や強い衝撃を与えないでください。扉・金具が破損したりおもわぬケガをするおそれがあります。
- 吊車（ダンパー・ばね付）のばねを引っ張らないでください。ばねが切れたり、外れてケガをするおそれがあります。



お願い

- 引戸のソフトモーション部品、吊車(ソフトモーション付／ダンパー・ばね付)に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。



- 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。扉が反る原因になります。



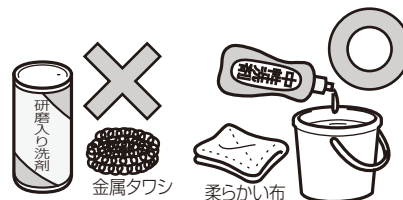
- 扉に粘着テープでポスターなどを張らないでください。表面が傷むおそれがあります。



ガラスを使用している製品(室内建具)

お願い

- ガラスはキズつけないように取扱ってください。
- 金属タワシ・研磨剤入り洗剤などはガラスをキズつける原因になります。ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞ってふき取ってください。又、乾いた柔らかい布でからぶきをしてください。



アクリル系パネル・ポリカーボネートを使用している製品 (室内建具)

お願い

- お手入れは以下の要領にて行ってください。表面キズの原因となります。
- 土埃など硬いゴミが付着している場合は、水を十分に含んだ柔らかい布で表面を濡らしながら軽くゴミを流し落としてください。
 - 柔らかい布、又は柔らかいスポンジを用いて、ぬるま湯で薄めた中性洗剤で洗浄してください。
 - 中性洗剤が付着した表面を水を十分に含んだ柔らかい布で軽く、拭き取ってください。
 - 最後に柔らかい布で完全に水を拭き取ってください。

お手入れ方法

建具(木目・ガラス・アクリル系パネルなど)

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでからぶきしてください。
- ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)などは絶対に使用しないでください。
- ゴミがたまらないよう、レールの溝はこまめにお掃除をしてください。扉レールの溝にゴミがたまりますと、扉の滑らかな走行のさまたげとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。



把手・引手・ツマミなど

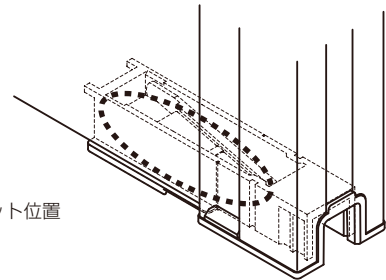
- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでからぶきしてください。
 - ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。
 - シリンダー錠、デッドロック錠のキーの抜き差しや回転操作が悪くなった場合は、鉛筆(柔かい芯)の粉や黒鉛粉またはシリンダー錠専用潤滑剤を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切込み面を鉛筆でなぞったあと、キーで抜き差しを数回行ってください。
- ※鍵穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は動きが良くても、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。



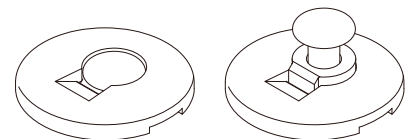
大開口建具 埋込みガイドピン

- マグネット部に異物が付着している場合は取り除いてください。
磁力が低下して、ガイドピンの動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。

…… マグネット位置



- ガイドピンのまわりは定期的に掃除機をかけてください。
ゴミやほこりによってガイドピンの動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。
- ジュースなどの液体をこぼしたり、ガイドピンの動きが悪い場合は、ガイドピンのピンを引き上げて濡れた布で拭き、よく乾かしてください。
- 床へワックスや洗剤を使用する場合はガイドピン内にはいり込まないようにしてください。
固着によりガイドピンの動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。



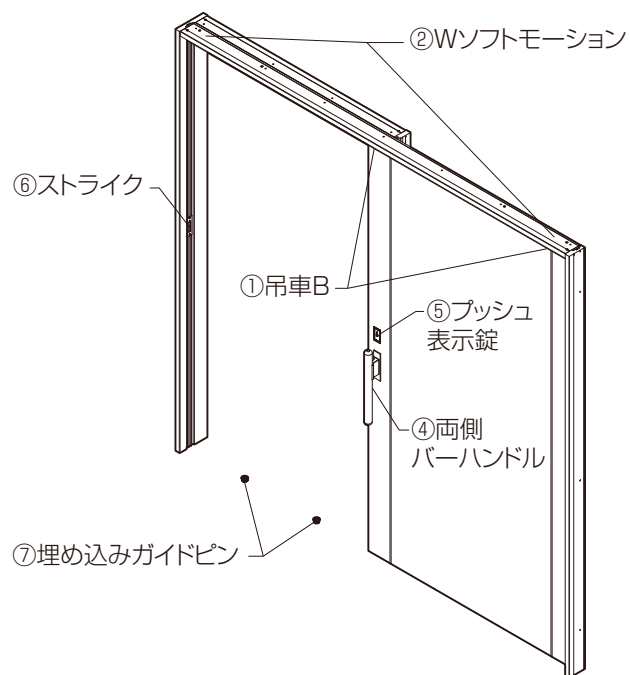
大開口建具製品の点検について

大開口建具のご使用にあたり、使われ方によっては部品の交換時期が早くなるおそれがあります。

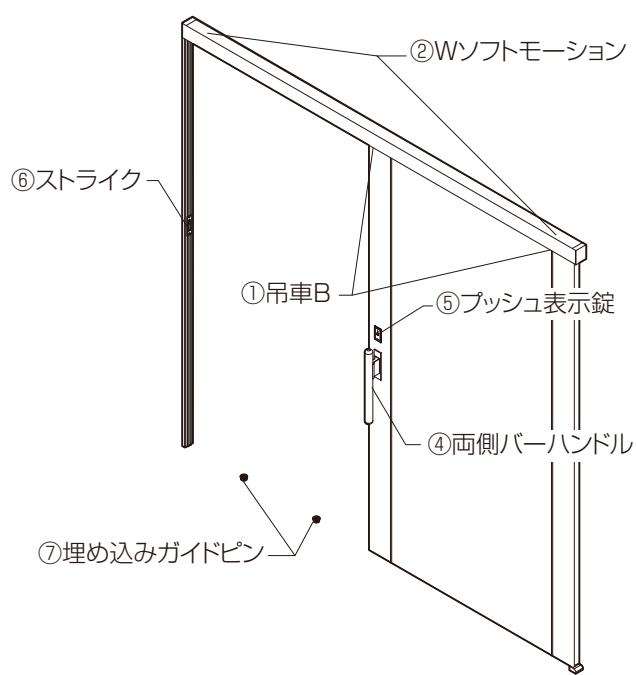
安全に長くお使いいただくために、2年ごとを目安に点検を実施してください。

※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、施工業者さままたは LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。(詳細は P.1 をご参照ください)

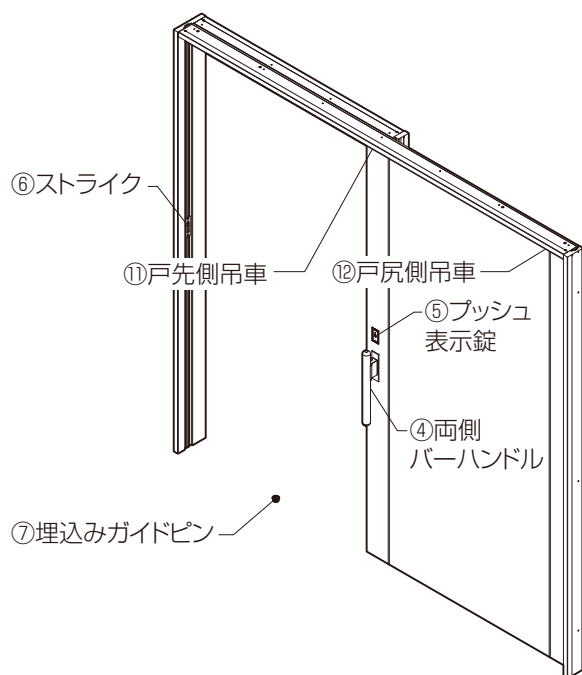
上吊片引戸
Wソフトモーション



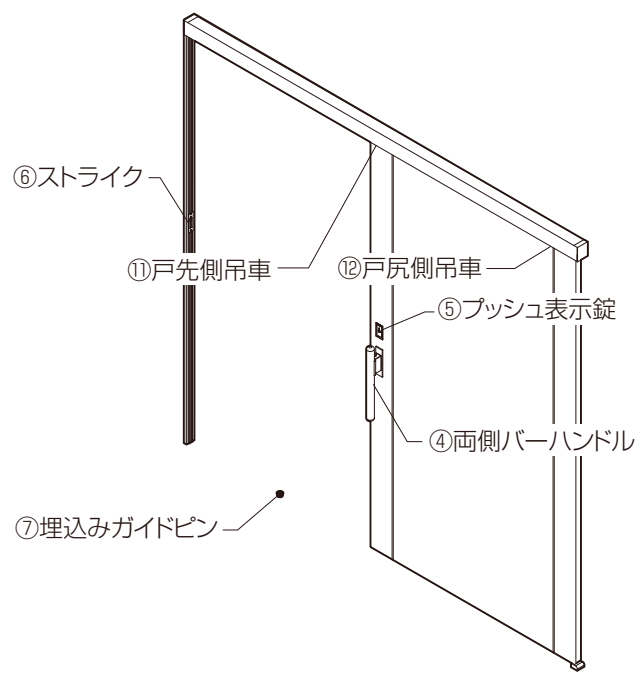
アウトセット引戸
Wソフトモーション



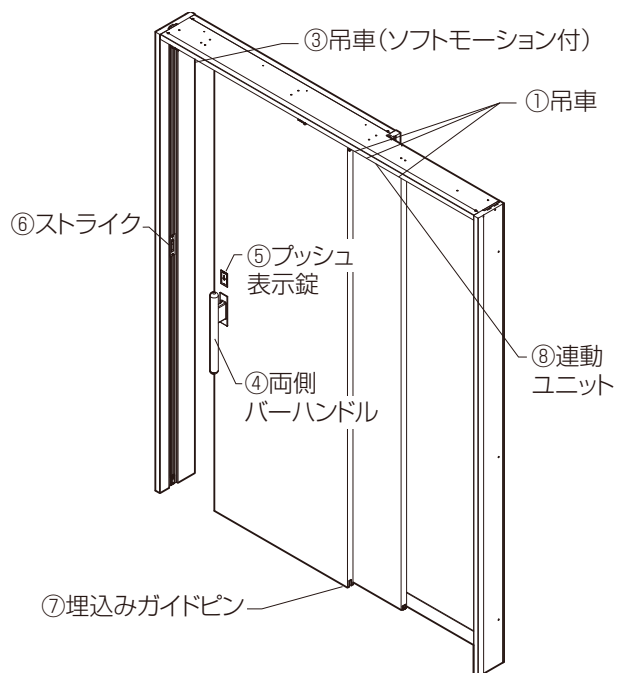
上吊片引戸
自閉機能



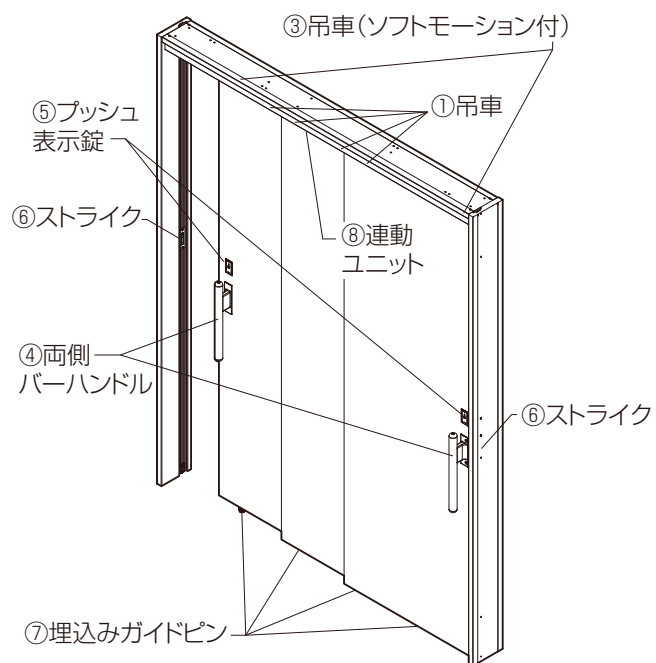
アウトセット引戸
自閉機能



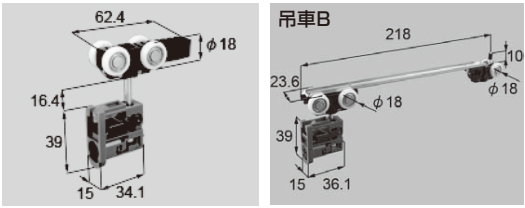
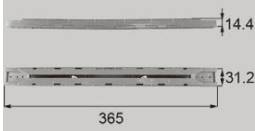
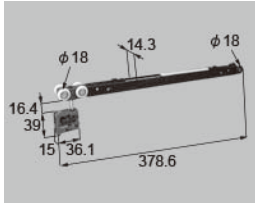
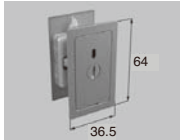
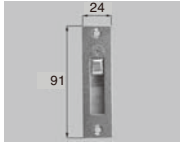
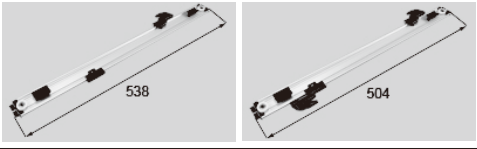
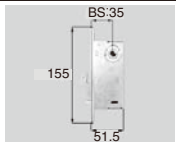
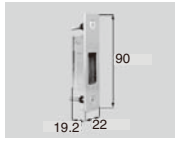
上吊連動引戸 片引 2 枚建

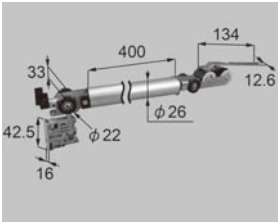
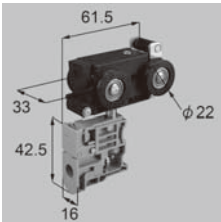


上吊連動引戸 引違 3 枚建



●点検項目

部 品	点検内容	項目	処置方法
①吊車 	動きが重い	はい	部品及びレール内を清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
	清掃しても動きが重い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
②Wソフトモーション 	減速しない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	閉まりきらない	はい	吊車を調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
③吊車 (ソフトモーション付) 	動きが重い	はい	部品及びレール内を清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
	清掃しても動きが重い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	減速しない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	閉まりきらない	はい	吊車を調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
④両側バーハンドル 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	ハンドルに割れがある	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑤プッシュ表示錠 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	錠が動かない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑥ストライク 	錠がかからない	はい	調整してください⇒ P. 12
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑦埋込みガイドピン 	動かない	はい	清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑧連動ユニット 	異音がある	はい	レール内を清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	清掃しても異音がある	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑨美和ロックFN錠ケース 	鍵が入らない・回らない サムターンが回らない	はい	対処方法に従ってください⇒ P.19
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑩美和ロックFN錠ストライク 	鎌錠が掛からない	はい	吊車を調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください

部 品	点検内容	項 目	処置方法
⑪ 自閉機能 戸先側吊車 	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
	動きが重い	はい	レール内を清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	ブレーキが効かない（開時に戸先側吊車のロッドが伸びきらない）	はい	ロッド先端部、戸先マグネット受けに付着したゴミなどを除去してください
		いいえ	そのままお使いください
	閉まる速度が速過ぎる	はい	扉を一旦外して速度を調整してください⇒ P.13
		いいえ	そのままお使いください
	閉まる速度が遅過ぎる	はい	扉を一旦外して速度を調整してください⇒ P.13
		いいえ	そのままお使いください
	閉まりきらない	はい	調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
	戸先部でキーキー音がする	はい	ロッド先端部、及びレール内を清掃してください
		はい	鴨居レールを躯体に固定しているねじの締め過ぎを直してください
		いいえ	そのままお使いください
	清掃しても直らない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑫ 戸尻側吊車 	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒ P.11
		いいえ	そのままお使いください
	動きが重い	はい	レール内を清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	バネが切れかかっている、または異音「カシャカシャ」がする	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	左右調整ねじ、速度調整ねじが損傷または紛失している	はい	部品手配を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください

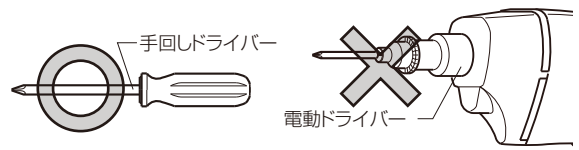
※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、施工業者さままたは LIXIL 修理受付センター（P.1 参照）までご連絡ください

大開口建具の調整について

●ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

お願い

- この「メンテナンスブック」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、施工業者さま又は、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。（詳細は P.1 をご参照ください）
- 建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。



■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

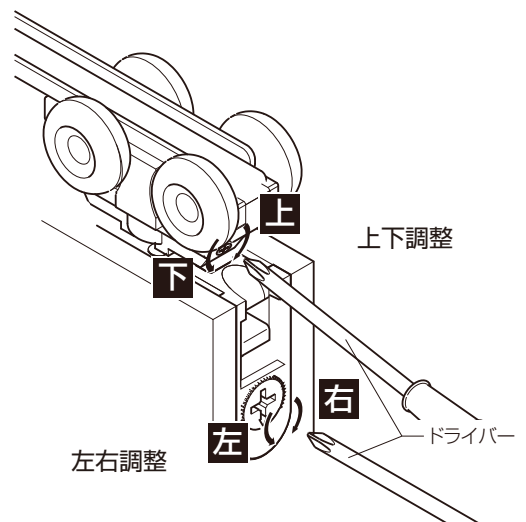
吊車の調整（W ソフトモーション）

■上下調整（調整幅 上4mm、下1mm）

- プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
- ※本体を下げ過ぎると埋込みガイドピンが当たりますので、下げ過ぎないようにご注意ください。

■左右調整（調整幅左右各2mm）

- 左右調整は上吊片引戸の場合、中縦枠と本体のチリが大きい（小さい）場合（標準チリ9mm）に実施してください。プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が左へ動き、右に回すと本体が右に動きます。
- ※左右調整した場合は、本体が常に垂直になるように埋込みガイドピンの調整をしてください。（P.12 参照）調整しないと開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。



吊車の調整（自閉機能）

■左右調整（調整幅左右各 1.5mm）

- 左右調整は上吊片引戸の場合、中縦枠と本体のチリが大きい（小さい）場合（標準チリ 9mm）に実施してください。
- ①吊車を本体から外します。
- ②上下調整ねじで幕板とあたらない位置まで吊車を下げます。
- ③左右調整ねじをゆるめ、左右に吊車を動かして位置を調整します。
- ④左右調整ねじをゆるみなく締め、本体を取付けます。
- ※左右調整した場合は、本体が常に垂直になるように埋込みガイドピンの調整をしてください。（P.12 参照）調整しないと開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。

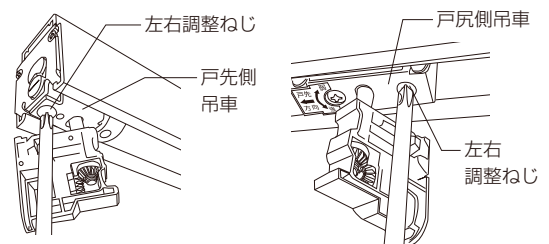
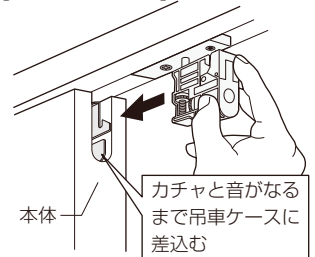
■上下調整（調整幅 上 5 mm、下 3 mm）

- プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
- ※本体を下げ過ぎると埋込みガイドピンが当たりますので、下げ過ぎないようにご注意ください。

【本体の外し方】



【本体の取付け方】



W ソフトモーションの調整

■大開口建具用Wソフトモーションには商品の構造上、以下の現象が発生します。

製品不具合ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・開閉の際にカチッという部品の作動音が生じます。
- ・バネを採用している為、扉を開ける際に途中扉が重く感じる部分があります。
- ・オイルダンパー（緩衝装置）を使用している為、夏季と冬季（部屋の温度差）で引込み速度が異なる場合があります。
- ・扉の重量、建付け状況により、扉の引込み速度が異なる場合があります。
- ・重量の重い扉を強めに閉めると、ブレーキ感が弱く感じる場合があります。
- ・重量の軽い扉を勢いよく閉めると、扉戸先の浮き上がり（つかかり）が生じる場合があります。
- ・レール、吊車にゴミなどが付着し動きが悪くなると、扉が閉まりきらないことがあります。

■ソフトモーション機構の復帰方法

- 本体を吊込んでもソフトモーション機構が作動しない場合は、ソフトモーション部品を確認してください。

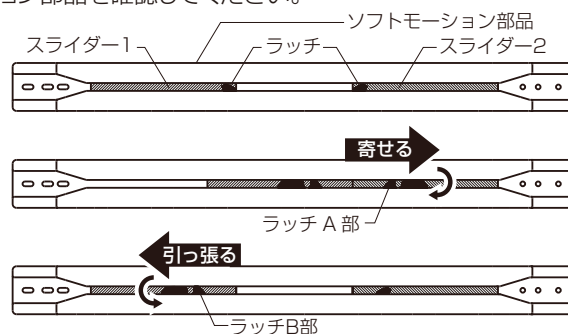
ソフトモーション部品の正常な状態は下図の通りです。

下図の状態ではない場合、以下の手順で正常な状態に戻してください。

※正常な状態はスライダー1とスライダー2が離れた状態です。

- ①スライダーを片側に寄せ、寄せた側と逆側のラッチA部にドライバーなどを挿入し、片側のラッチを回転させます。

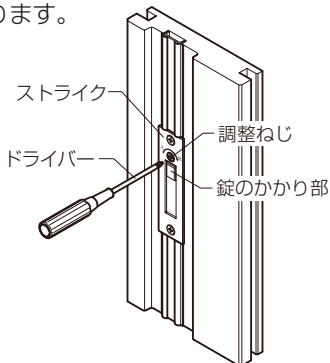
- ②回転させたラッチと逆側のラッチ（ラッチB部）にドライバーを挿入し、引っ張ります。引っ張ると端部でラッチが回転し正常な状態に戻ります。



ストライクの調整

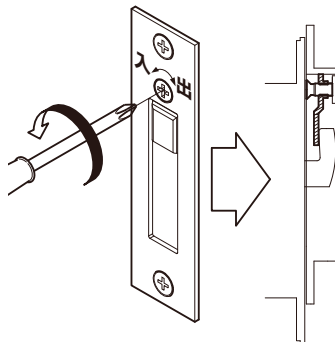
■引戸錠のかかり調整

- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



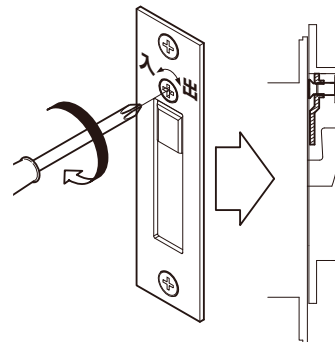
【本体と枠のすき間が大きい場合】

- 調整ねじを左に回して調整してください。



【錠がかかりにくい場合】

- 調整ねじを右に回して調整してください。



※美和ロックFN錠ストライクには、錠のかかり調整機能は付いていません。調整が必要な場合は、吊車の上下調整(P.11)で対応してください。

埋込みガイドピンの調整

■左右調整（調整幅±2mm）

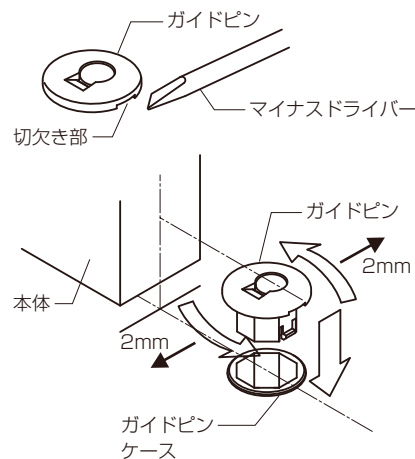
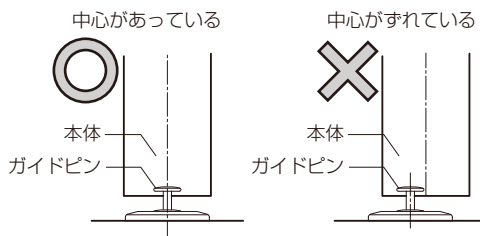
- ガイドピンを切欠き部にマイナスドライバーなどを差込んで外してください。
- ※床にキズがつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。

- 本体が静止していることを確認し、本体の中心線上にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。

※中心がずれていると、開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。

※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。

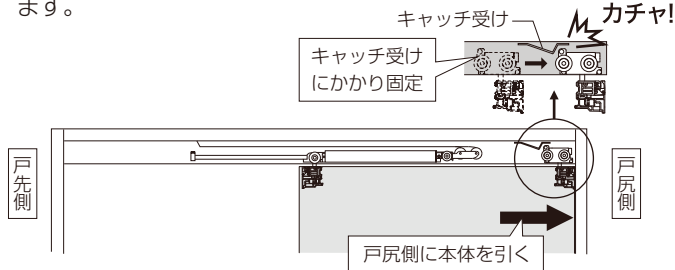
- 位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



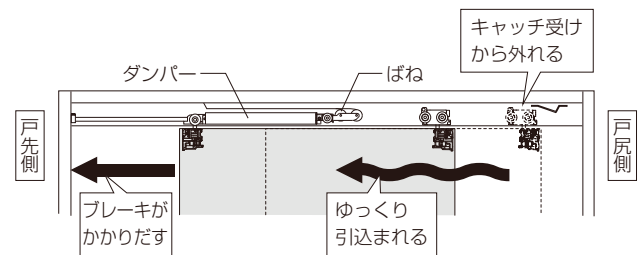
自閉機能の動作確認と調整

■動作確認

●扉を全開します。カチャと音がするまで扉を戸尻側に引きします。

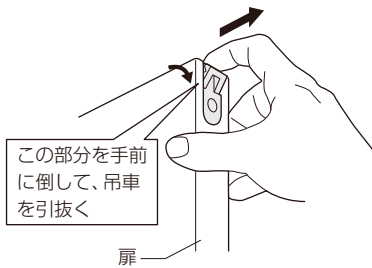


●扉を全閉します。扉を引手側に引くと、自閉機能の働きで、扉がゆっくりと引手側に引込まれていきます。

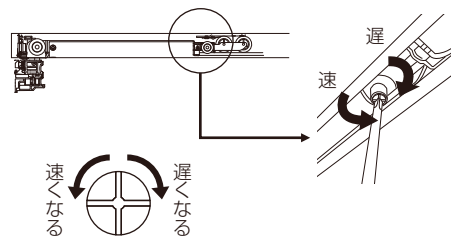


■ブレーキ速度の調整

①戸先側吊車を扉から外します。

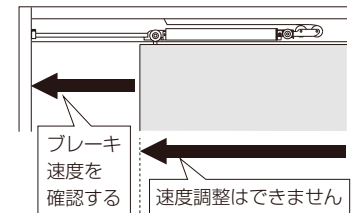


②速度調整ねじで速度を調整します。



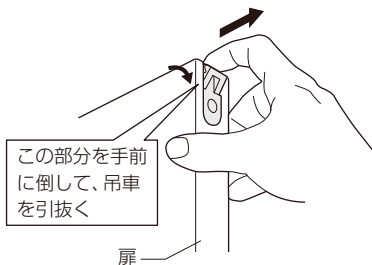
③調整後、扉を取付けて速度を確認してください。

※閉まる直前から全閉までの速度調整です。全開から閉まる直前までの速度調整はできません。

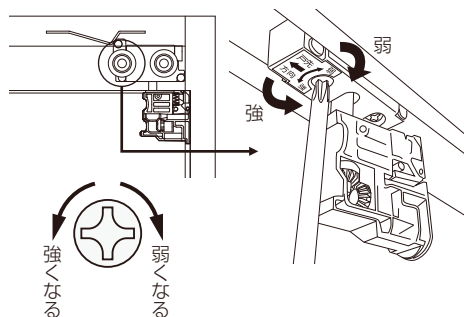


■キャッチ力の調整

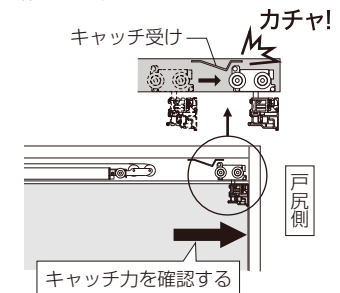
①戸尻側吊車を扉から外します。



②キャッチ力調整ねじでキャッチ力を調整します。



③調整後、扉を取付けてキャッチ力を確認してください。

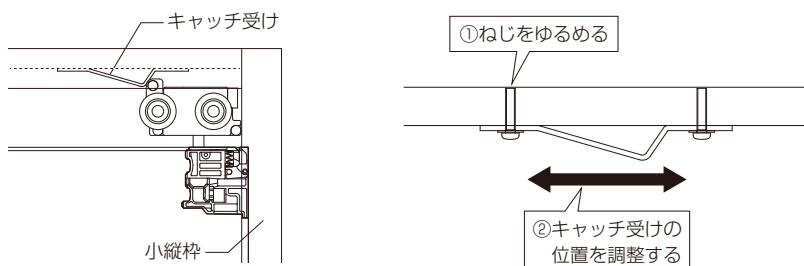


■キャッチ位置の調整

※全開した際、小縦枠と本体戸尻にすき間が開く場合に調整してください。キャッチ受けのねじをゆるめ、キャッチ受けの位置を調整します。

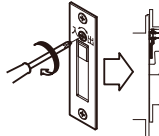
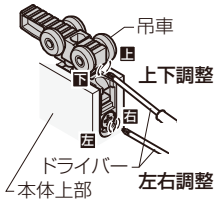
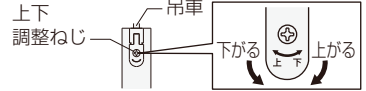
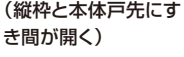
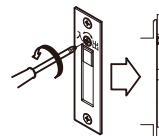
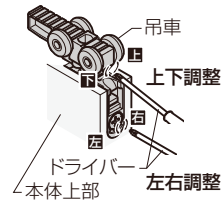
(調整幅左右各 4mm)

調整後はねじをゆるみなく締付けてください。

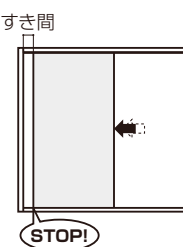
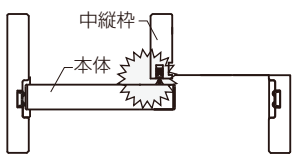
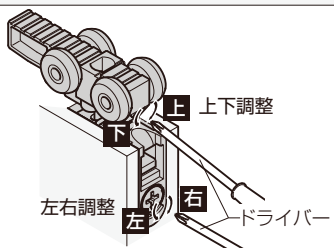
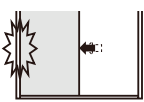


異常時の対処方法

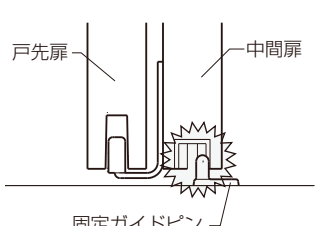
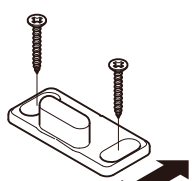
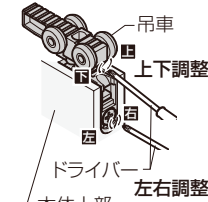
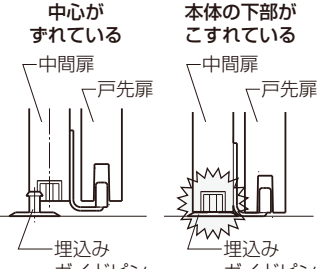
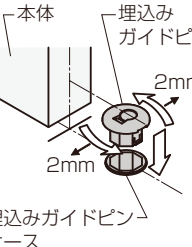
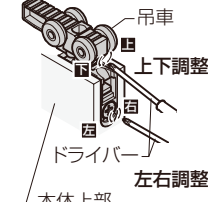
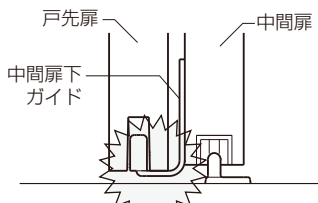
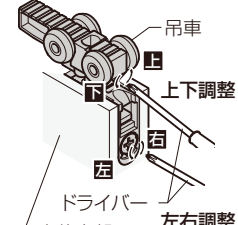
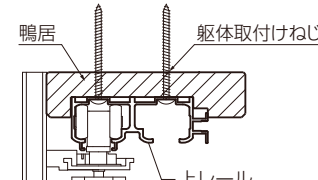
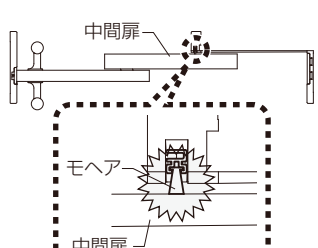
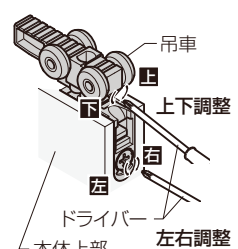
●上吊方式／アウトセット方式／上吊連動方式共通

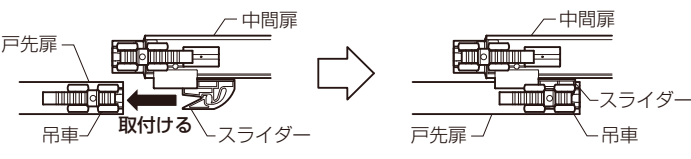
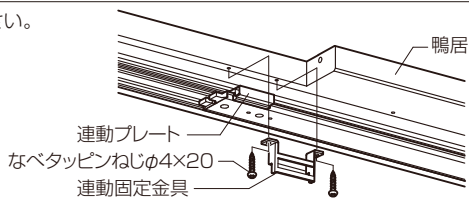
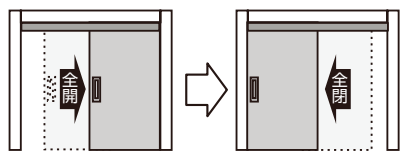
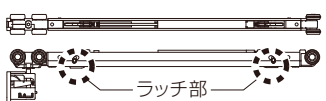
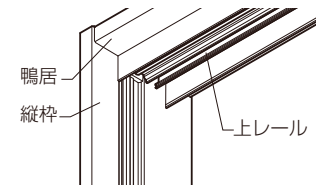
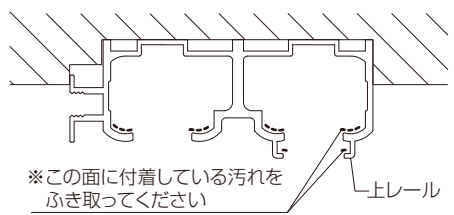
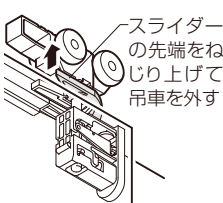
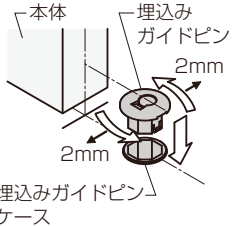
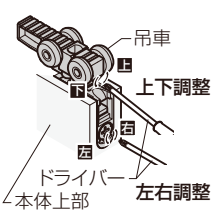
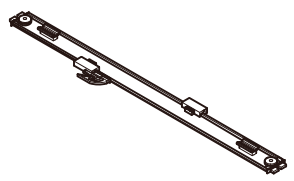
No.	現 象	チェックポイント	対処方法
①	鍵がかからない 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを右に回してください。 
		●本体の上下位置が不適當 ●本体が傾いている	鍵がかかるように本体の位置を調整してください。 ■吊車の調整(Wソフトモーション) 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅 上4mm、下1mm)  ■吊車の調整(自閉機能) プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅 上5mm、下3mm) 
②	鍵が甘い (縦枠と本体戸先にすき間が開く) 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを左に回してください。 
		●本体の上下位置が不適當 ●本体が傾いている	鍵がかかるように本体の位置を調整してください。 ■吊車の調整(Wソフトモーション) 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅 上4mm、下1mm)  ■吊車の調整(自閉機能) プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅 上5mm、下3mm) 

●上吊方式／アウトセット方式 (W ソフトモーション)

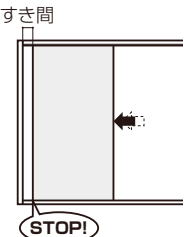
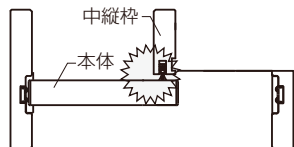
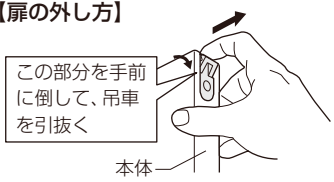
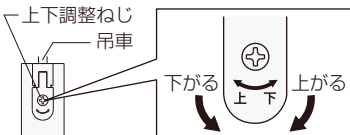
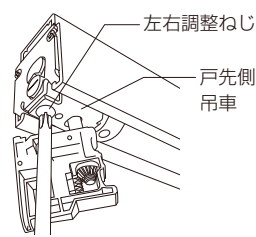
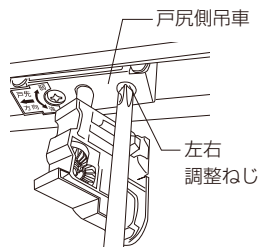
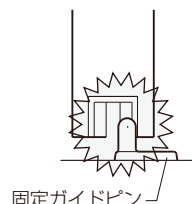
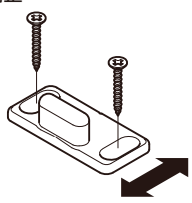
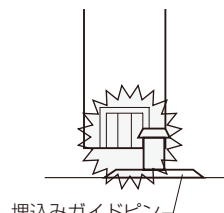
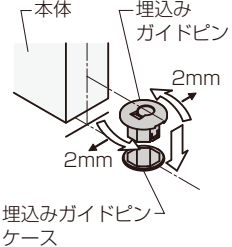
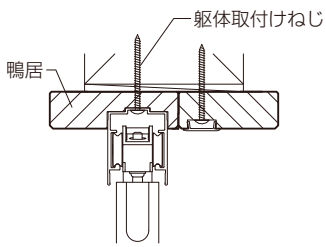
No.	現 象	チェックポイント	対処方法
①	閉まりきらない 	●本体とモヘアが接触している ※上吊方式の場合 	吊車の左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 【吊車の調整】 左右調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。(調整幅左右各2mm) 
		●ソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある 	ソフトモーション部品の交換が必要です。
②	ブレーキが効かない 	●ソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある 	ソフトモーション部品の交換が必要です。

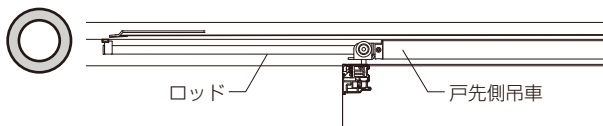
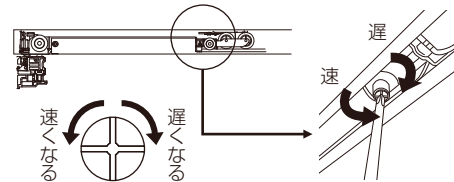
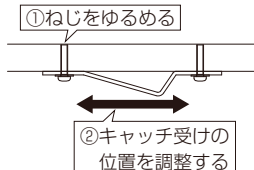
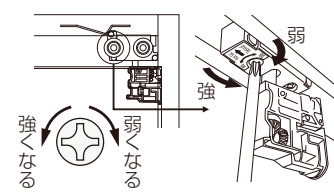
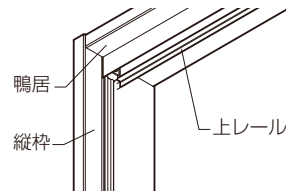
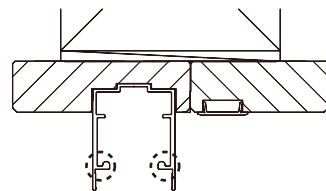
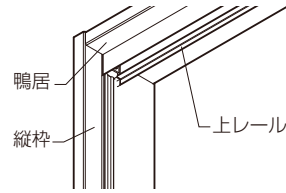
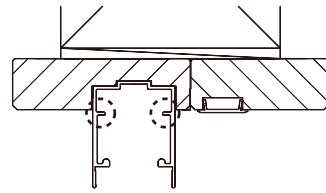
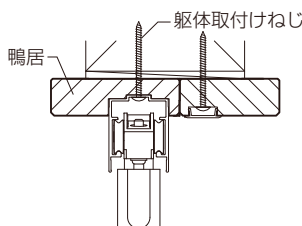
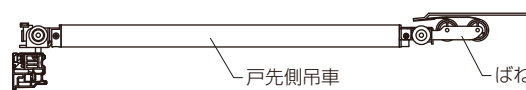
●上吊連動方式

No.	現象	チェックポイント	対処方法
①	開閉が重い	●固定ガイドピンと中間扉がこすれている	固定ガイドピンと中間扉がこすれないように調整してください。 ■中間扉の連動を解除する 連動ユニットのスライダーから戸先扉の吊車を外します。調整が完了したら逆の手順でスライダーに戸先扉の吊車を取付けてください。 ■固定ガイドピンの調整 ねじを外して前後に調整して固定してください。 ■吊車の調整 吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。(調整幅左右各2mm)   
		●埋込みマグネットピンと中間扉がこすれている	埋込みガイドピンと中間扉がこすれないように調整してください。 ■中間扉の連動を解除する スライダーから戸先扉の吊車を外します。調整が完了したら逆の手順でスライダーに戸先扉の吊車を取付けてください。 ■埋込みガイドピンの調整 ガイドピン位置前後調整を参照して調整してください。 ■吊車の調整 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅上4mm、下1mm)   
		●中間扉下ガイドと戸先扉がこすれている	中間扉下ガイドと戸先扉がこすれないように、戸先扉または中間扉を調整してください。 ※中間扉を下げる場合はガイドピンとのこすれ、床とのこすれに注意してください。 ■吊車の調整 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅上4mm、下1mm)  
		●連動ユニットの抵抗が大きい	連動ユニットを交換してください。
		●鴨居の躯体取付けねじの締め過ぎでレールがずぼんでいる	躯体取付けねじをゆるめてください。 
②	扉が最後まで閉まらない	●開閉が重いことによる	No.①を参照してください。
		●中間扉とモヘアが接触している	中間扉にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 ■吊車の調整 吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。(調整幅左右各2mm)  

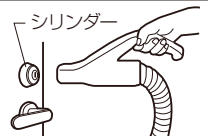
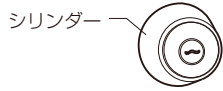
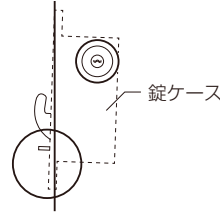
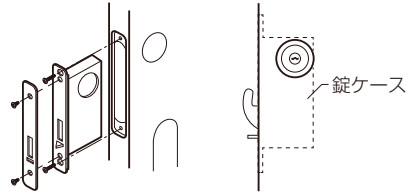
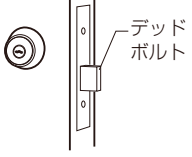
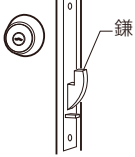
No.	現 象	チェックポイント	対処方法
③	中間扉が連動しない	●連動ユニットの-sliderに吊車が固定されていない	連動ユニットの-sliderに吊車を固定してください。 
		●連動固定金具が枠に固定されていない	連動固定金具を取付けてください。 
④	ブレーキが効かない	●吊車(ソフトモーション付)のラッチが上がっている	本体を全開した後、全閉することを1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が自動復帰します。 
⑤	ブレーキが効かない (長期使用後)	●吊車(ソフトモーション付)のラッチ部が磨耗している 	吊車(ソフトモーション付)を交換してください。
⑥	異音がする	●上レールにごみが付着している 	上レールを清掃してください。 
		●埋込みマグネットピンと中間扉がこすれている	埋込みガイドピンと中間扉がこすれないように調整してください。 ■中間扉の連動を解除する sliderから戸先扉の吊車を外します。調整が完了したら逆の手順でsliderに戸先扉の吊車を取付けてください。  ■埋込みガイドピンの調整 ガイドピン位置前後調整を参照して調整してください。  ■吊車の調整 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。(調整幅上4mm、下1mm) 
		●連動ユニットが磨耗している 	連動ユニットを交換してください。

●上吊方式／アウトセット方式（自閉機能）

No.	現 象	チェックポイント	対処方法
①	閉まりきらない 動きが重い 	●本体とモヘアが接触している ※上吊片引戸のみ 	吊車の左右調整ねじで扉にモヘアが触れて開閉が重くならないよう調整してください。 ■吊車の調整 ①吊車を本体から外します。 ②上下調整ねじで幕板とあたらない位置まで吊車を下げます。 ③左右調整ねじをゆるめ、左右に吊車を動かして位置を調整します。 ④左右調整ねじをゆるみなく締め、本体を取付けます。 【扉の外し方】  この部分を手前に倒して、吊車を引抜く 本体 上下調整ねじ  下がる 上 下 上がる 左右調整ねじ  戸先側吊車 戸尻側吊車  左右調整ねじ
		●本体が固定ガイドピンと擦れている  固定ガイドピン	本体が固定ガイドピンと擦れないように調整してください。 ■固定ガイドピンの調整 ねじを外して前後に調整して固定してください。  ■吊車の調整 上記の手順と同様に、調整してください。
		●本体が埋込みガイドピンと擦れている  埋込みガイドピン	本体が埋込みガイドピンと擦れないように調整してください。 ■埋込みガイドピンの調整 ガイドピン位置前後調整を参照して調整してください。  本体 埋込みガイドピン 2mm 2mm 埋込みガイドピンケース ■吊車の調整 上記の手順と同様に、調整してください。
		●鴨居の躯体取付けねじの締め過ぎで レールがすぼんでいる ※上吊片引戸のみ	躯体取付けねじをゆるめてください。  鴨居 躯体取付けねじ

No.	現 象	チェックポイント	対処方法
②	ブレーキが効かない	●開時に、戸先側吊車(ダンパー・ばね付)のロッドが伸びきらない	戸先側吊車(ダンパー・ばね付)を交換してください。 
		●ロッドは伸びきるが、ブレーキが効かない	速度調整ねじを調整してください。 ■ブレーキ速度の調整 上記の手順と同様に、吊車を本体から外します。 速度調整ねじで速度を調整します。 
③	(全開時)静止状態にならない	●戸尻側のキャッチ部の調整ができていない	キャッチの位置、キャッチ力の調整をしてください。 ■キャッチ位置の調整 キャッチ受けのねじをゆるめ、キャッチ受けの位置を調整します。(調整幅左右各4mm) 調整後はねじをゆるみなく締めつけてください。  ■キャッチ力の調整 上記の手順と同様に、吊車を本体から外します。 キャッチ力調整ねじでキャッチ力を調整します。 
④	異音がする (上レールと車輪部)	●上レールにごみが付着している 	上レールの下部ガイド部を清掃してください 
	異音がする (上レールとロッド先端部)	●上レールにごみが付着している  ●鴨居の躯体取付けねじの締め過ぎでレールがずぼんでいる ※上吊片引戸のみ	上レールの上部ガイド部を清掃してください  躯体取付けねじをゆるめてください。 
	異音がする (戸先側吊車 ばね部)	●開閉操作で「カシャカシャ」という異音が出る	ばねが損傷し切れるおそれがあるため戸先側吊車(ダンパー・ばね付)を交換してください。 

美和ロック製 FN 錠（引戸）・DA 錠（ドア）の異常時の対処方法

現 象	チェックポイント	対処方法
錠が入らない・回らない 錠の抜き差しに引っ掛かりがある サムターンが回らない	● シリンダー内にゴミ等の異物が確認出来る	掃除機で吸い取るか、または、パソコン用のエアダスターで取り除いてください。それでも取り除けない場合はシリンダーを交換してください。 
	● 錠に異物や汚れが付着している	歯ブラシなどで錠の切り込み部・溝部の異物、汚れをかき出してください。  鉛筆（先端の黒芯）でなぞるように黒く塗り、錠穴に挿入して数回抜き差しをしてください。または、錠前専用潤滑剤（パウダースプレー）をお使いください。抜き差しにより、錠に異物が付着した場合、取り除いてください。 
	● シリンダー内又は錠にゴミ等の異物が確認出来ない	シリンダーを交換してください。
	● シリンダー周辺や内部に市販の「潤滑剤・シリコンスプレー・マシン油」等の塗布が確認できる 	シリンダーを交換してください。
	● 錠の変形・バリが確認できる	錠を交換してください。
	● 町のキーコーナーで複製をした錠のみが入らない	美和ロック社 純正の複製した子錠を手配してお使いください。そのまま無理に使用するとシリンダー本体を傷め、純正キーでも回らなくなるおそれがあります。
	● 錠ケースが扉の小口面より斜めに飛び出している 	錠ケースのねじを外して扉の小口面と並行になるように調整して固定してください。 
	● デッドボルト、鎌が変形している、擦れた痕が見られる DA錠（ドア）  FN錠（引戸） 	錠ケースを交換してください。
	● デッドボルト、鎌周辺やストライクにガムなどが付いている	付着している物を取り除いてください。
	● 錠ケースとストライクの位置が合っていない 扉を開けた状態なら回る ※引戸の場合、トリガーを押しながら、錠、または、サムターンを回してください。 	ドアの場合は、P.27～28を参照して丁番の調整をしてください。 引戸の場合は、P.31を参照して吊車の調整をしてください。

※錠ケース・ストライクの交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、施工業者さままたはLIXIL 修理受付センター（P.1 参照）までご連絡ください。

※錠・サムターンは、施工業者さまによる別手配品となっております。錠・サムターンの交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、施工業者さままたは美和ロック代理店までご連絡ください。

アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の「**大開口建具製品の点検について（p.6～10参照）**」をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。

保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、弊社オフィシャルサイトよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

2016年8月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■対象商品…………… インテリア建材商品 大開口建具

■保証期間…………… 施工者よりの引渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）

注1）改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）の場合、建築主さまへの引渡し日とします。

■保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ② 表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
- ⑤ 自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥ 環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合）
- ⑦ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
- ⑩ 引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪ お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用（一般住宅同等の環境下で使用される建築物）の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問合わせください。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談時のため、メモしておくと便利です。

■販売店名

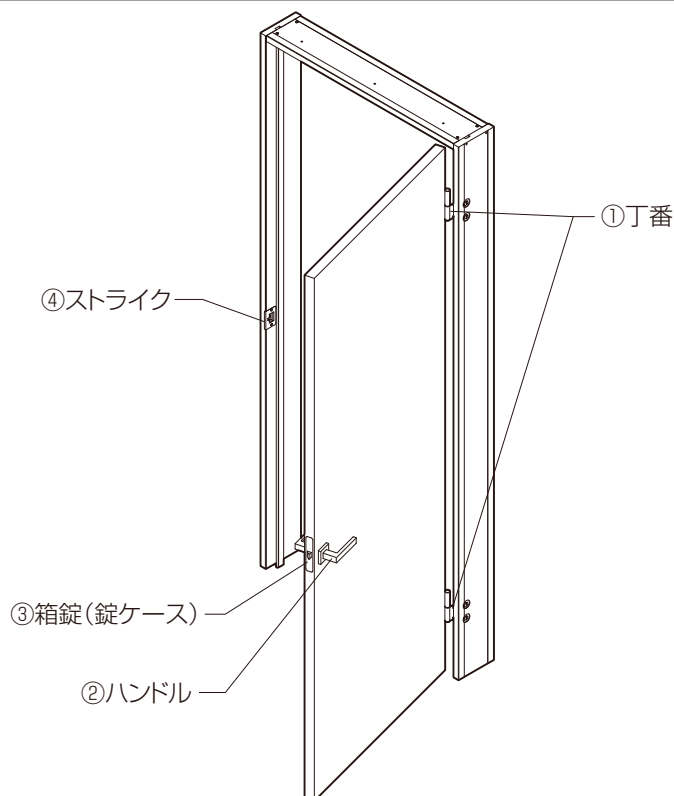
TEL ()

■工務店名

TEL ()

その他建具製品の点検について

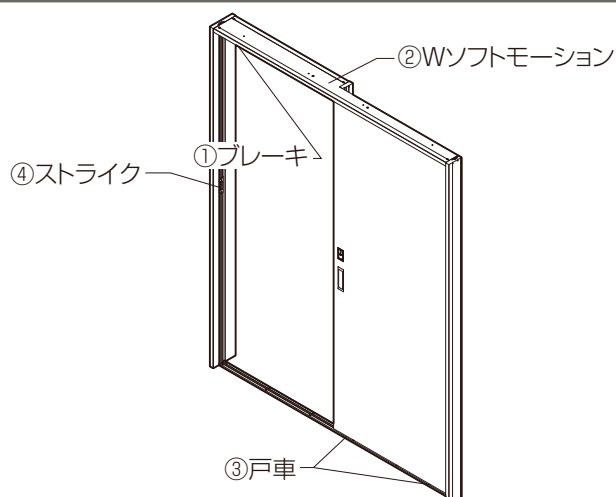
室内ドア

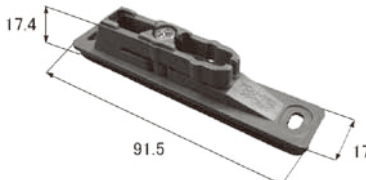
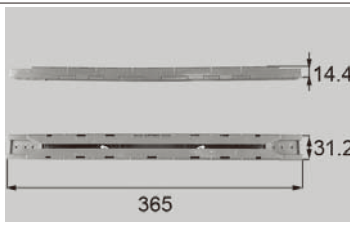
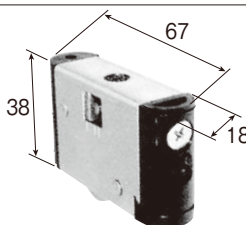
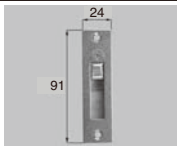
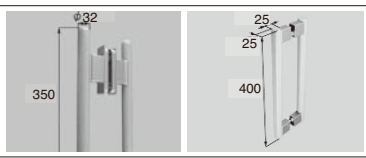
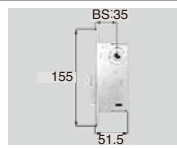
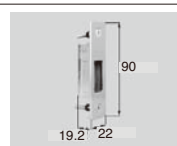


部 品	点検内容	項目	処置方法
① 丁番 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒P.27
		いいえ	そのままお使いください
② ハンドル 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
③ 箱錠 	ラッチが戻らない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	ハンドルの戻りが悪い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
④ ストライク 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	ラッチのガタツキが大きい	はい	調整してください⇒P.29
		いいえ	そのままお使いください
⑤ 美和ロックDA錠ケース 	鍵が入らない・回らない サムターンが回らない	はい	対処方法に従ってください⇒P.19
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑥ 美和ロックDA錠ストライク 	デッドボルトが掛からない	はい	扉を調整してください⇒P.27
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください

※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、
施工業者さままたは LIXIL 修理受付センター（P.1 参照）までご連絡ください

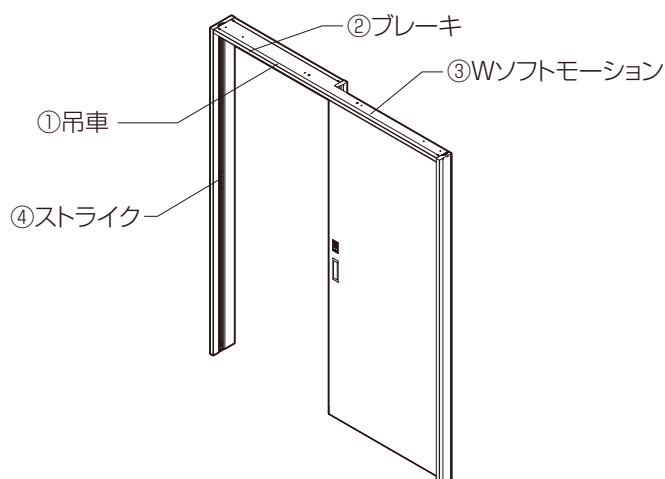
室内引戸 (V レール)

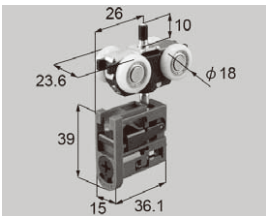
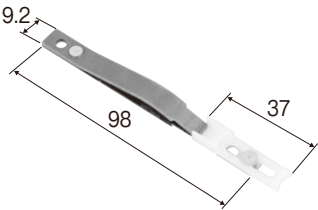
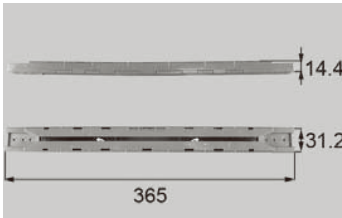
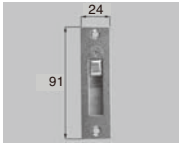
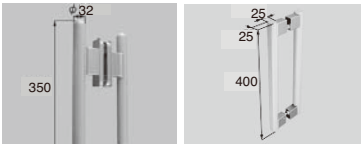
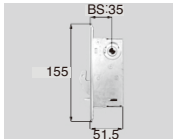
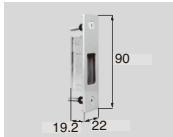


部 品	点検内容	項目	処置方法
①ブレーキ (FL) 	ブレーキが弱い	はい	調整してください⇒ P.29
		いいえ	そのままお使いください
	調整してもブレーキが弱い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
②Wソフトモーション (WL) 	減速しない	はい	ラッチを戻してください⇒ P.29
		いいえ	そのままお使いください
	閉まりきらない	はい	ラッチを戻してください⇒ P.29
		いいえ	そのままお使いください
	ラッチを戻しても減速しない、閉じない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
③戸車 	開閉が重い	はい	清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	清掃しても開閉が重い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒ P.31
		いいえ	そのままお使いください
④ストライク 	錠がかからない	はい	調整してください⇒ P.31
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑤両側バーハンドル 	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
	ハンドルに割れがある	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑥美和ロックFN錠ケース 	鍵が入らない・回らない サムターンが回らない	はい	対処方法に従ってください⇒ P.19
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑦美和ロックFN錠ストライク 	鎌錠が掛からない	はい	戸車を調整してください⇒ P.31
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください

※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、
施工業者さままたは LIXIL 修理受付センター (P.1 参照) までご連絡ください

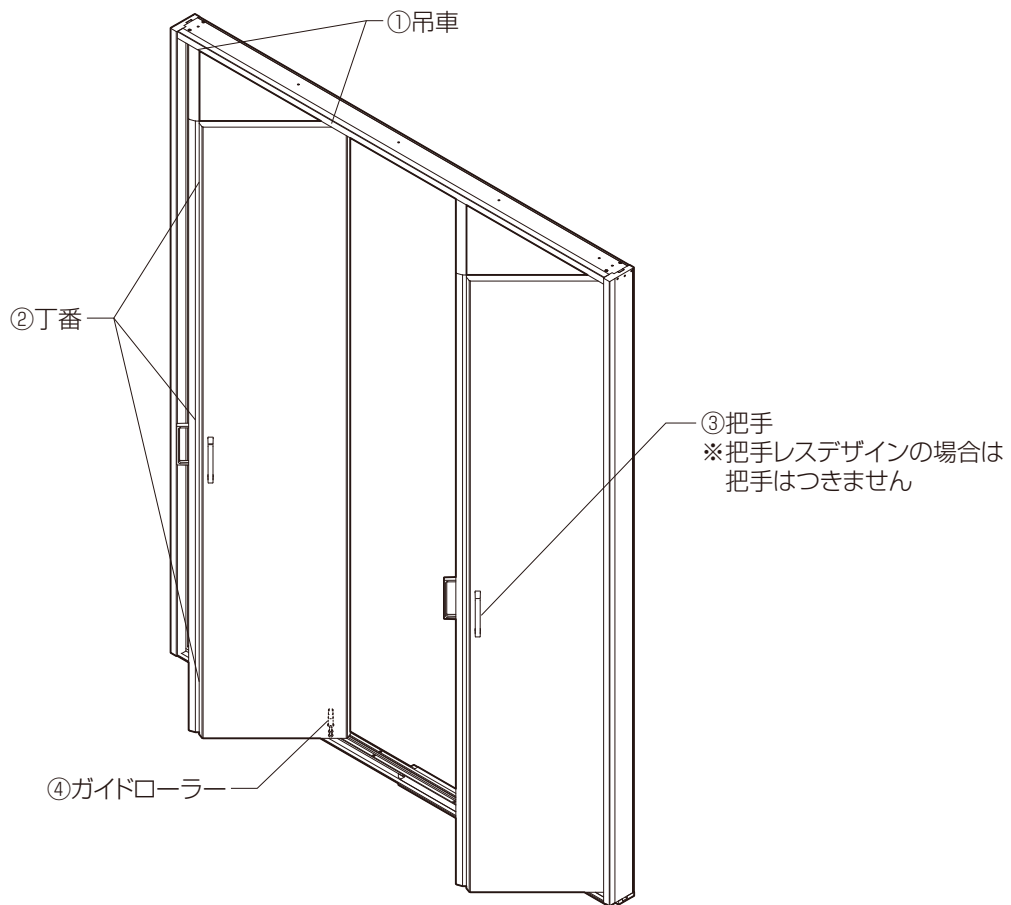
室内引戸（上吊引戸）



部 品	点検内容	項目	処置方法
①吊車 	動きが重い	はい	部品及びレール内を清掃してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒ P.31
		いいえ	そのままお使いください
	清掃しても動きが重い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
②ブレーキ (FL) 	ブレーキが弱い	はい	調整してください⇒ P.29
		いいえ	そのままお使いください
	調整してもブレーキが弱い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換してください
		いいえ	そのままお使いください
③Wソフトモーション (WL) 	減速しない	はい	ラッチを戻してください⇒ P.12
		いいえ	そのままお使いください
	閉まりきらない	はい	ラッチを戻してください⇒ P.12
		いいえ	そのままお使いください
	ラッチを戻しても減速しない、閉じない	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
④ストライク 	錠がかからない	はい	調整してください⇒ P.31
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑤両側バーハンドル 	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
	ハンドルに割れがある	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
⑥美和ロックFN錠ケース 	鍵が入らない・回らない サムターンが回らない	はい	対処方法に従ってください⇒ P.19
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください
⑦美和ロックFN錠ストライク 	鎌錠が掛からない	はい	吊車を調整してください⇒ P.31
		いいえ	そのままお使いください
	ガタツキがある	はい	固定ねじを増し締めしてください
		いいえ	そのままお使いください

※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、
施工業者さままたは LIXIL 修理受付センター（P.1 参照）までご連絡ください

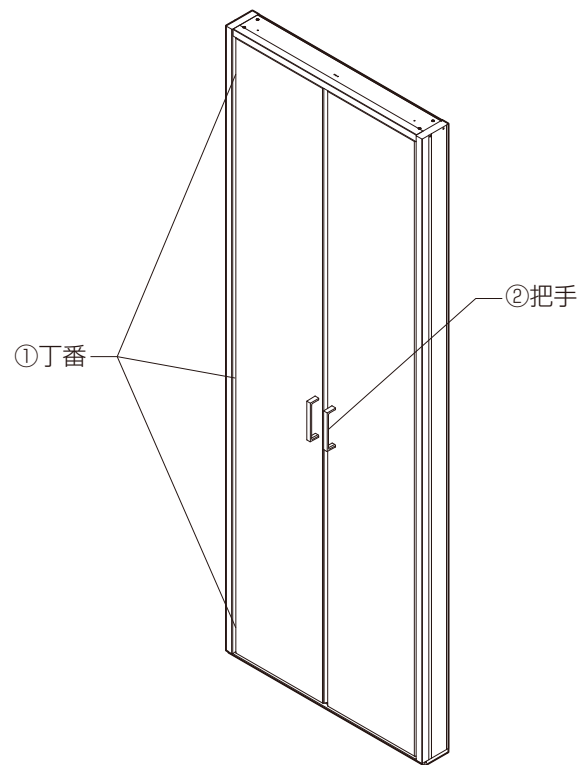
クローゼット折れ戸



部 品	点検内容	項目	処置方法
①吊車 	開閉が重い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒P.32
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
②丁番 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
③把手 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
④ガイドローラー 	レールから外れる	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください

※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、
 施工業者さままたは LIXIL 修理受付センター (P.1 参照) までご連絡ください

クローゼット開き戸



部 品	点検内容	項目	処置方法
①丁番 	開閉が重い	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
	扉の建付けが狂っている	はい	調整してください⇒P.34
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください
②把手 	ガタツキがある	はい	固定ねじを締めなおしてください
		いいえ	そのままお使いください
	破損している	はい	部品交換を依頼してください
		いいえ	そのままお使いください

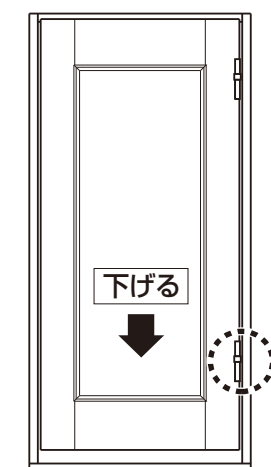
※部品交換が必要な場合や、異常を発見した場合は、
 施工業者さままたは LIXIL 修理受付センター（P.1 参照）までご連絡ください

その他建具の調整について

室内ドア 丁番調整

不具合例

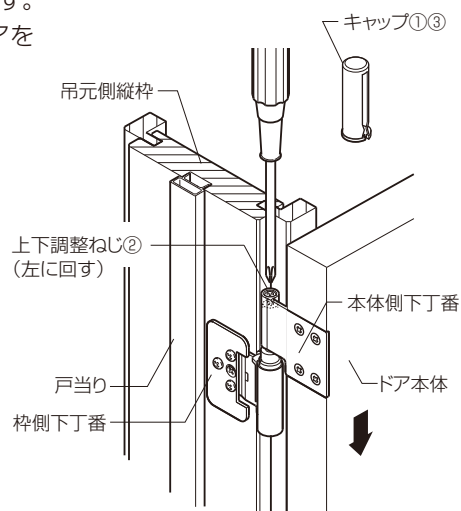
■ドアの上部が枠に当たる。



(調整範囲 下:3mm)

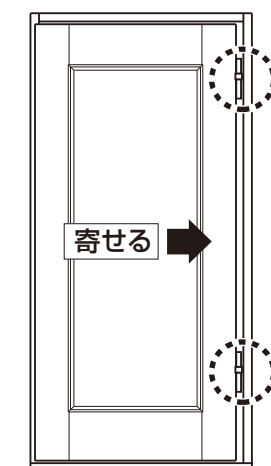
調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。



不具合例

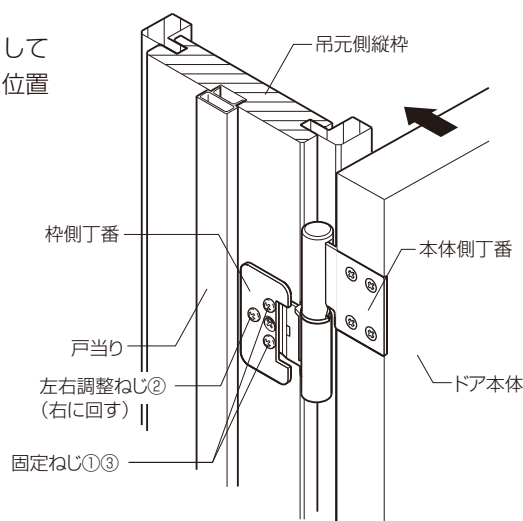
■ドアの開き側が枠に当たる。



(調整範囲 吊元側:1.5mm)

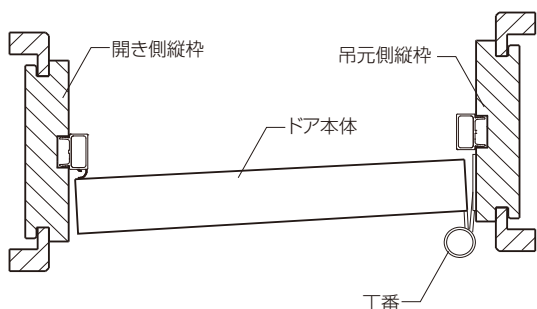
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。



不具合例

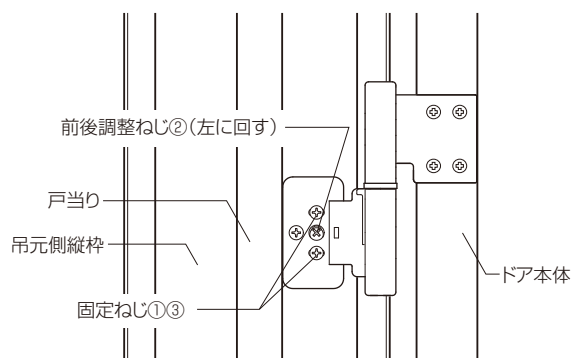
■開き側の枠が前に出ている。



(調整範囲 前:2mm)

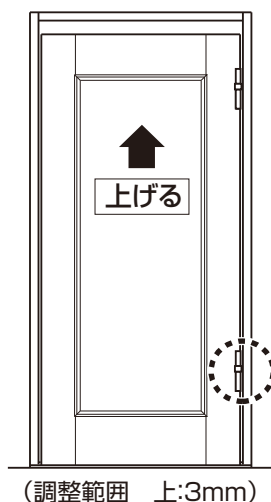
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。

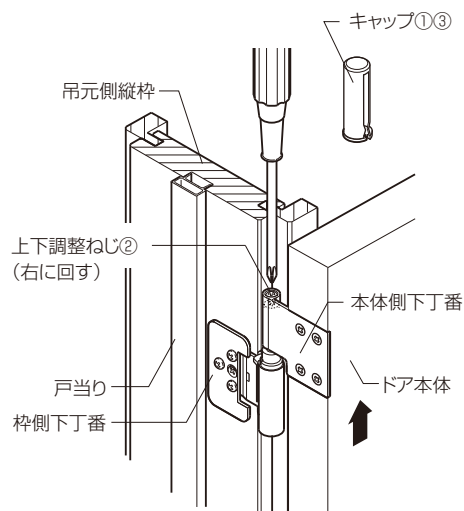


不具合例	調整方法
------	------

■ドアの下部が枠に当たる。

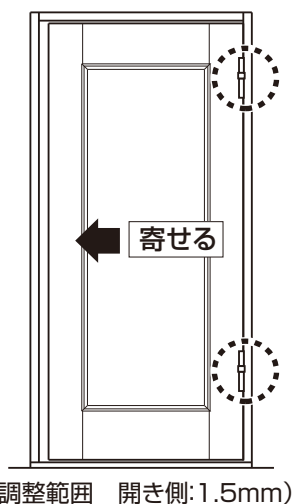


- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

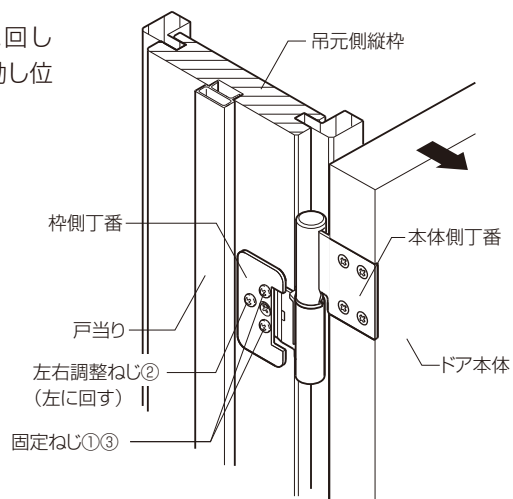


不具合例	調整方法
------	------

■ドアの開き側のすき間が大き過ぎる。

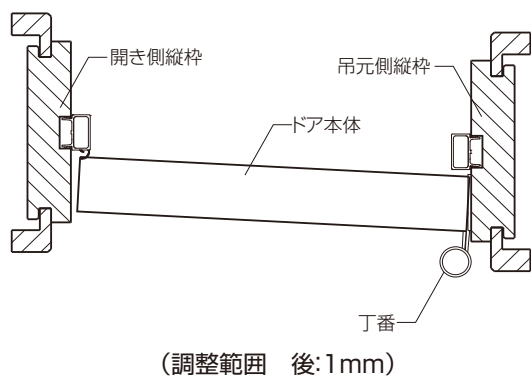


- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

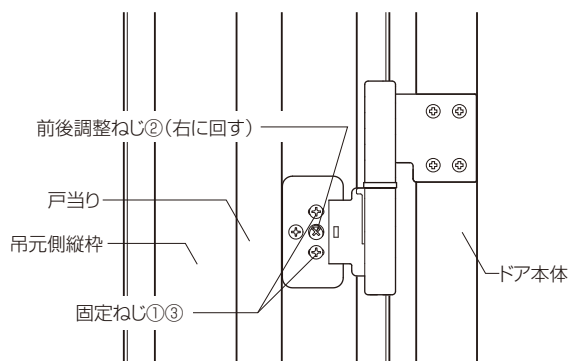


不具合例	調整方法
------	------

■吊元側の枠が前に出ている。



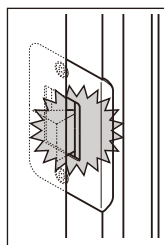
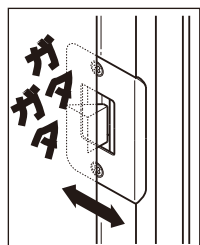
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



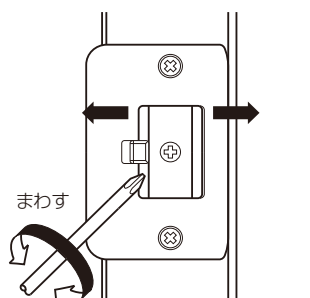
室内ドア ストライクの調整

ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライク ■ラッチがかからない の中でガタつく



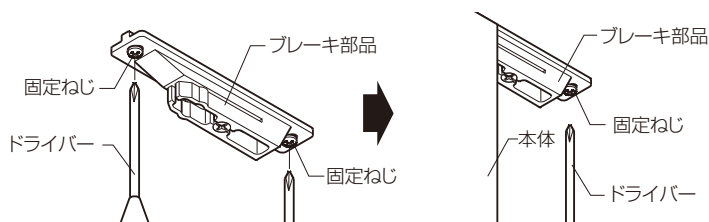
ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



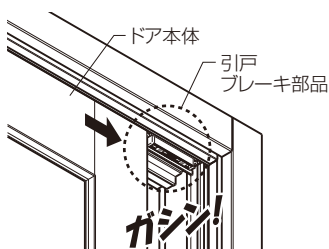
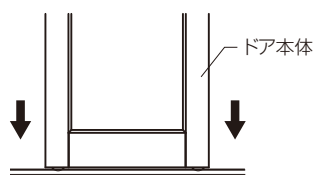
室内引戸 (Vレール) ブレーキ (FL) の調整

■ブレーキの左右調整

- 本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。
上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



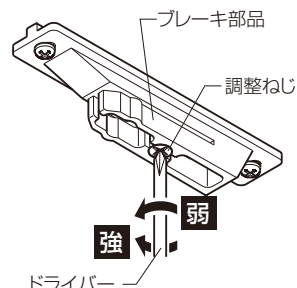
- 本体がブレーキ部品に当たる時は、戸車の上下調整ねじを回して本体を下げてください。



お願い

- 調整ねじを弱方向に回す場合、ブレーキの表面からねじ頭の出寸法が1.5mm以内になるように調整してください。

回し過ぎるとねじがぬけます。



室内引戸 (上吊引戸) ブレーキ (FL) の調整方法

〔ブレーキ力調整〕

- 上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ブロック固定ねじを2回転までゆるめ、調整ブロックをスライドさせて、ブレーキ力を調整してください。調整後は、固定ねじを締めてください。

調整ブロック 調整ブロック固定ねじ



ブレーキ力弱 ← → ブレーキ力強

室内引戸 W ソフトモーション (WL) の調整

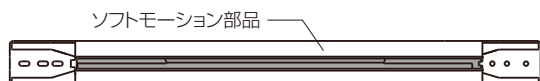
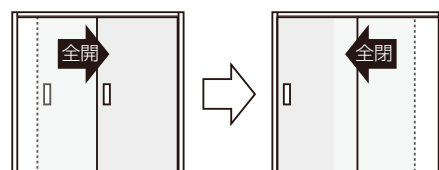
■WL室内引戸Vレール方式のソフトモーション機構の自動復帰方法

※本体を吊り込んでもソフトモーション機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトモーション機構が自動復帰します。

- ①本体を全開してください。
- ②本体を全閉してください。
- ③①、②を1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が復帰します。

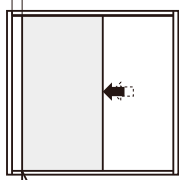
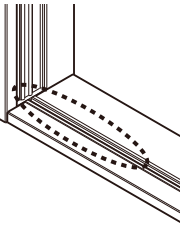
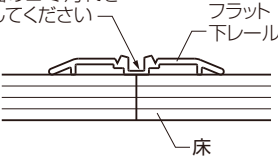
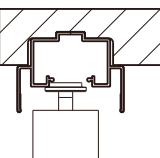
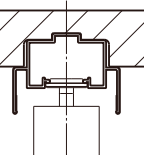
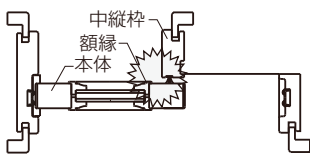
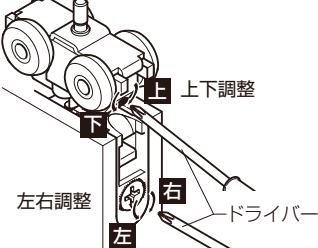
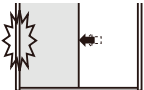
※必ず縦枠に当たるまで全開・全閉を行ってください。

※開閉はゆっくりと行い、ソフトモーション機構復帰後は扉を無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。



室内引戸 W ソフトモーションの調整

■WL用Wソフトモーション機構の調整方法

現 象	チェックポイント	対処方法
閉まりきらない すき間  STOP!	●下レールやフラット下レールに粉塵やゴミがたまり付着している ※Vレール方式・可動間仕切り引戸の場合 	清掃してください。 ■Vレールの場合  ※この面に付着している汚れをふき取ってください ※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください ■フラット下レールの場合  ※この面のゴミ・汚れを除去してください フラット下レール 床
●ガイドローラーが上レールのセンターと芯がズレている ※Vレール方式のみ 	●ガイドローラーの左右調整  ガイドローラーの左右調整ねじで芯を合わせてください。 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm) 左右調整  左右調整 左 ⊕ 右	■ガイドローラーの調整 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm) 左右調整 左右調整 左 ⊕ 右
●本体とモヘアが接触している ※Vレール方式・上吊方式・可動間仕切り引戸の片引き・引分けのみ 	■Vレール方式の場合 戸車とガイドローラーの左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 【戸車の調整】 左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm) 左右調整 左右調整 左 ⊕ 右 【ガイドローラーの調整】 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm) 左右調整 左右調整 左 ⊕ 右	■上吊方式・可動間仕切り引戸の場合 吊車の左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 【吊車の調整】 左右調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。(調整幅左右各2mm)  左右調整 上下調整 上 下 左 右 ドライバー
●ソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある 	ソフトモーション部品の交換が必要です。	
ブレーキが効かない 	●ソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある 	ソフトモーション部品の交換が必要です。

■WL用Wソフトモーションには商品の構造上、以下の現象が発生します。

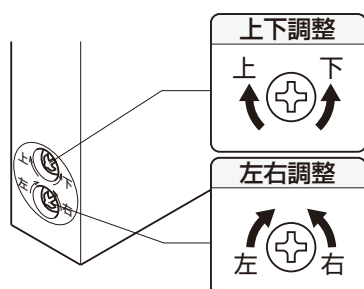
製品不具合ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・開閉の際にカチッという部品の作動音が生じます。
- ・バネを採用している為、扉を開ける際に途中扉が重く感じる部分があります。
- ・オイルダンパー（緩衝装置）を使用している為、夏季と冬季（部屋の温度差）で引込み速度が異なる場合があります。
- ・扉の重量、建付け状況により、扉の引込み速度が異なる場合があります。
- ・重量の重い扉を強めに閉めると、ブレーキ感が弱く感じる場合があります。
- ・重量の軽い扉を勢いよく閉めると、扉戸先の浮き上がり（つかかり）が生じる場合があります。
- ・レール、戸車にゴミなどが付着し動きが悪くなると、扉が閉まりきらないことがあります。

室内引戸(Vレール) 戸車の調整

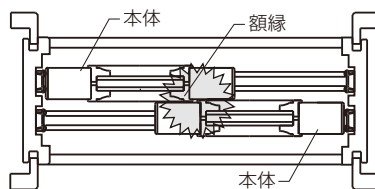
■上下調整(調整幅+4mm、-2mm)

- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

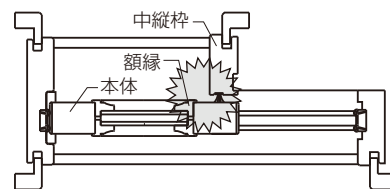


※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触し過ぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

●引違い・3枚・4枚建



●片引き・引分け



室内引戸(上吊方式) 吊車の調整

■上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

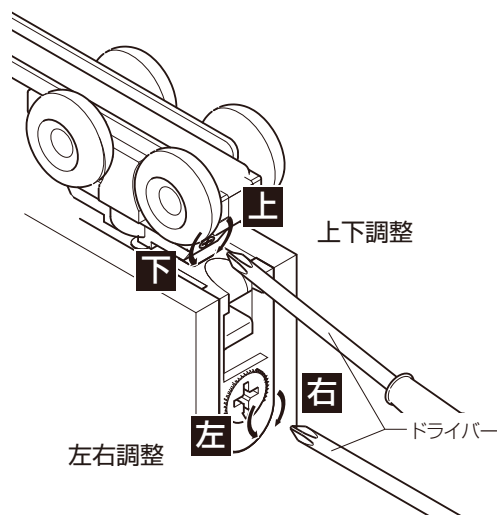
- プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が下がり、左に回すと本体が上がります。

※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。

※本体を下げ過ぎるとガイドピンベース部が当たりますので、下げ過ぎないようにご注意ください。

■左右調整(調整幅±2mm)

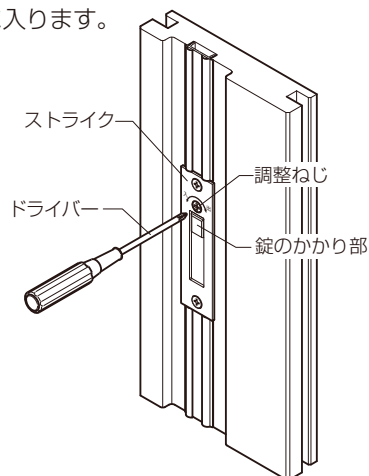
- 左右調整は片引きの場合、中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ9mm)に実施してください。引違いの場合、本体同士のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ8mm)に実施してください。プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が右へ動き、右に回すと本体が左に動きます。
- ※左右調整した場合は、本体が常に垂直になるようにガイドピンおよび縦枠下部のブレ止めの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。



室内引戸 ストライクの調整

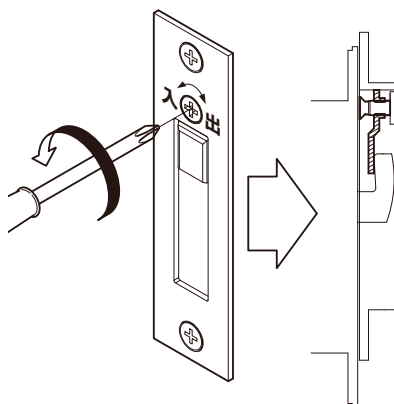
■引戸錠のかかり調整

- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



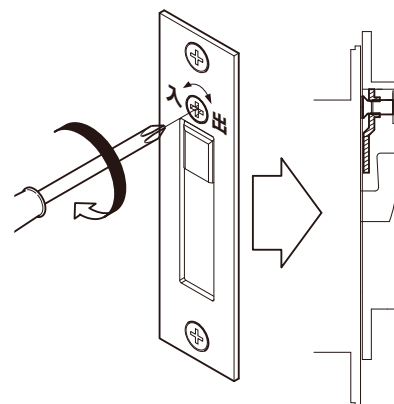
【本体と枠のすき間が大きい場合】

- 調整ねじを左に回して調整してください。



【錠がかかりにくい場合】

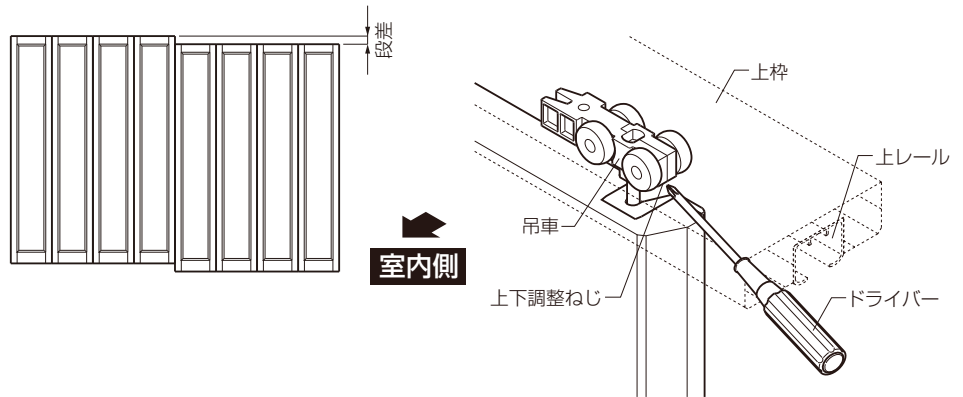
- 調整ねじを右に回して調整してください。



クローゼット折れ戸 吊車の調整

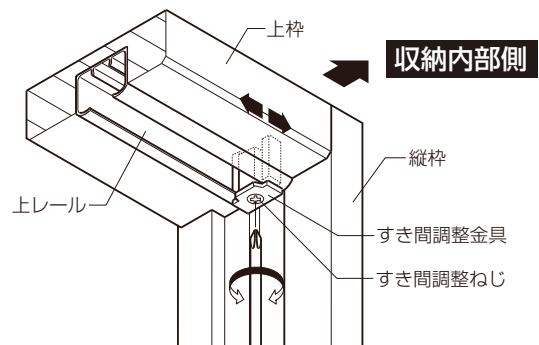
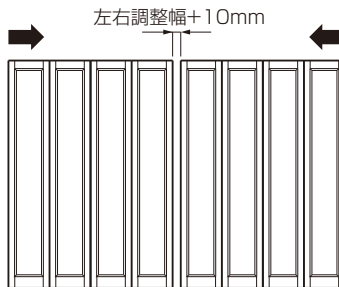
■段違い(上・下)の調整

- 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
(調整範囲 上：5mm)



■すき間(左・右)の調整(フリータイプの場合)

- 本体間のすき間が大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているすき間調整金具で調整できます。
すき間調整ねじをドライバーで回し、調整してください。すき間調整ねじを右に回すと、すき間が小さくなります。
注) すき間調整金具は、上レールの左右に付いています(W07・08は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。

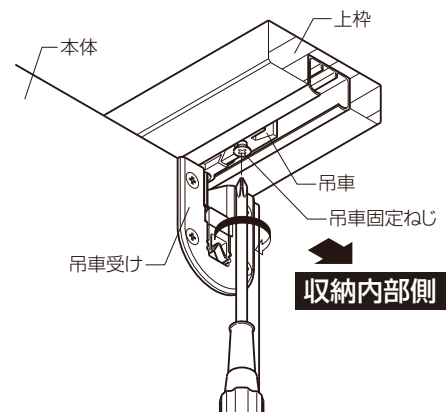
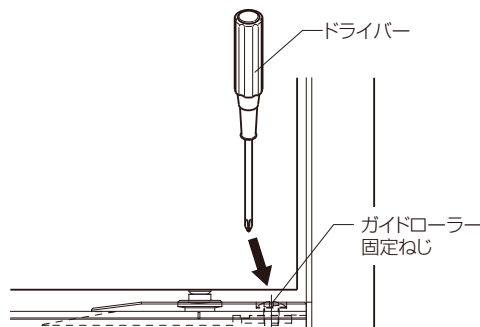
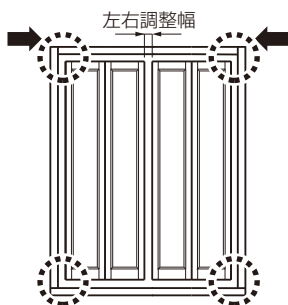


■すき間(左・右)の調整(ピボットタイプの場合)

- 本体間のすき間が大きい場合、吊車およびガイドローラー固定金具(本体部品セット同梱)で左右調整を行います。

- 本体をずらしてガイドローラー固定金具の固定ねじをプラスドライバーでゆるめて移動させます。

- 吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



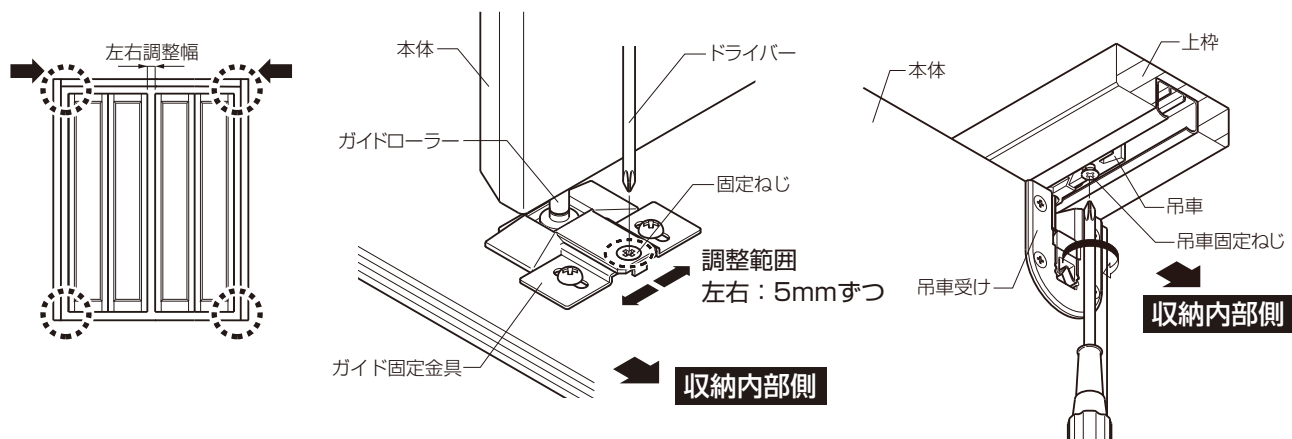
クローゼット折れ戸 吊車の調整

■すき間(左・右)の調整(ノンレールタイプの場合)

●本体間のすき間が大きい場合、吊車およびガイド固定金具で左右調整を行います。

●ガイド固定金具の固定ねじを、ドライバーでゆるめて左右に移動させます。

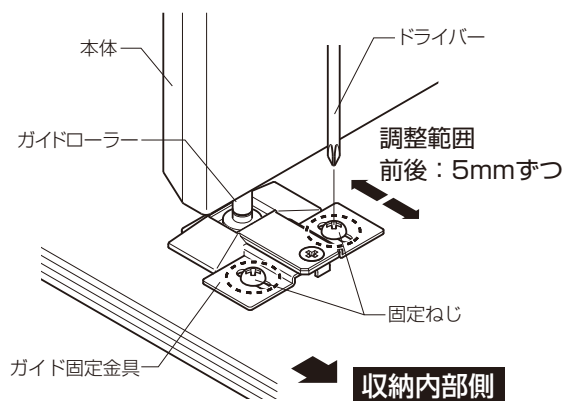
●吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



■すき間(前・後)の調整(ノンレールタイプの場合)

●ガイド固定金具で前後調整を行います。

●ガイド固定金具の2つの固定ねじを、ドライバーでゆるめて前後に移動させます。

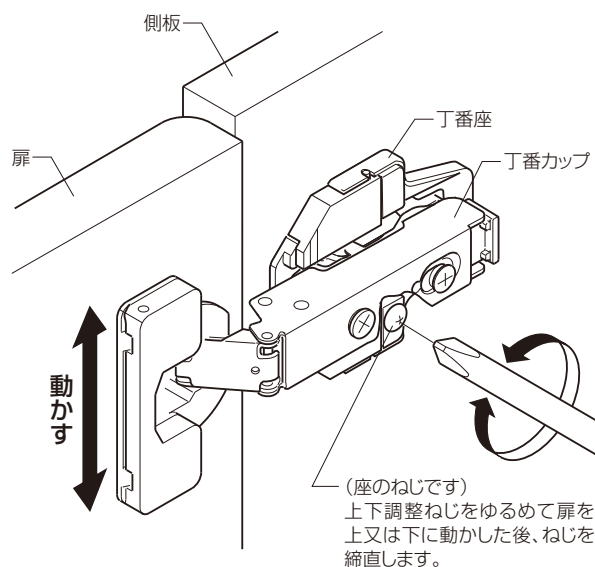
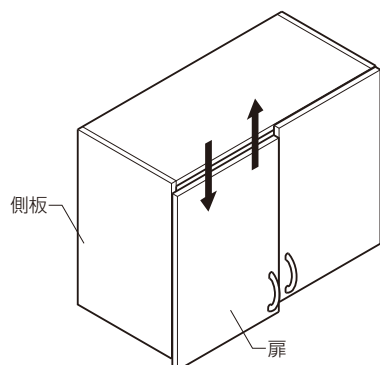


クローゼット開き戸 丁番の調整

■上下調整

【調整範囲】

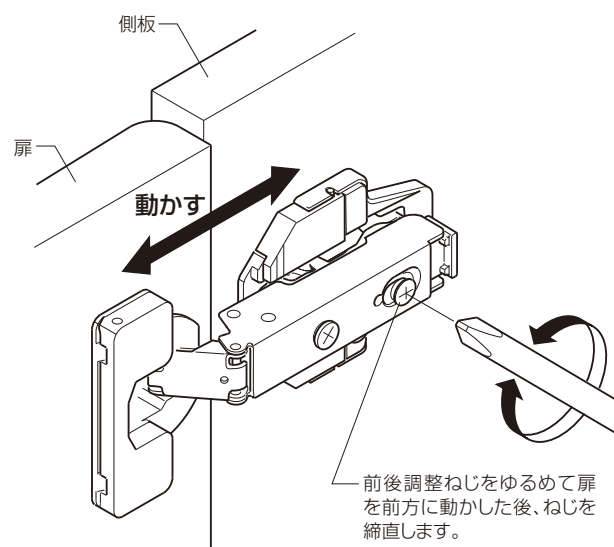
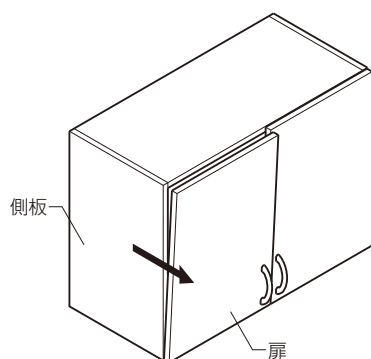
	クローゼット 開き戸	クローゼット すっきりタイプ
上方向	1.5mm	1.5mm
下方向	1.5mm	1.5mm



■前後調整

【調整範囲】

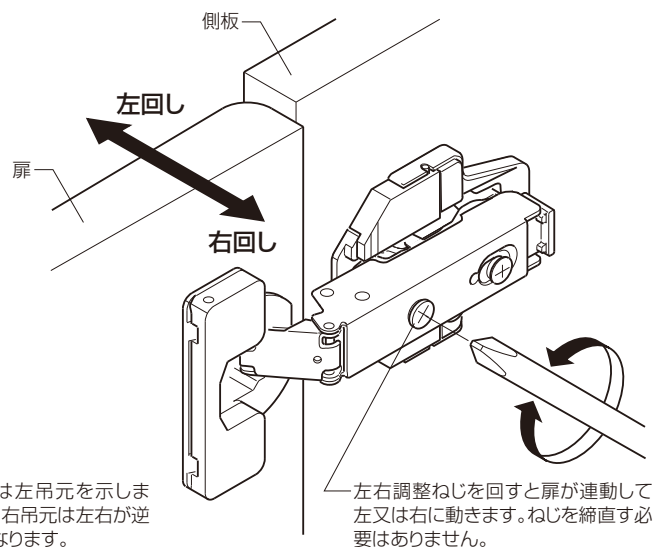
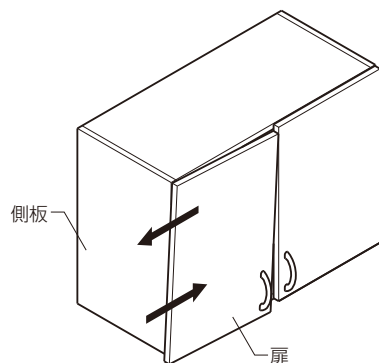
	クローゼット 開き戸	クローゼット すっきりタイプ
前方向	2mm	2mm
後方向	1mm	1mm



■左右調整

【調整範囲】

	クローゼット 開き戸	クローゼット すっきりタイプ
扉内方向	2mm	2mm
扉外方向	2mm	2mm



株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAN-440D	事業所コード	NTC2	2018.1.15 発行
------	----------	--------	------	--------------

